

町に関係する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。

統計調査への長年の協力に感謝

みずむらよしつぐ
水村善継さんに農林水産大臣から感謝状

10月18日の「統計の日」を記念して、水村善継さん(田原)に農林水産大臣から感謝状が贈られました。

この感謝状は、農林水産省が実施する統計調査に長年協力した人へ贈られるものです。水村さんは、20年にわたり農業経営統計調査に協力したことから感謝状が贈られました。

20歳の時に家業を継いで農業に従事し始めた水村さん。受賞について、「調査に協力することで農業の現状が分かるので、今後も協力していきたい」と話しました。



感謝状を掲げる水村さん



表彰式に出席した関係者一同。右から3人目が福本さん

被災地への献身的な支援を表彰

日本防災士機構防災士表彰式

役場仮設庁舎で11月20日、日本防災士機構による防災士表彰式が行われました。

同団体は毎年、模範となる活動を行った防災士などを表彰しており、今年には日本防災士会熊本県支部の福本雅子(ふくもとまさこ)理事(熊本市)が表彰されました。熊本地震後に全国から集まった防災士の中心役となり、本町で家屋の片付け支援などを行ったことが評価されたものです。

表彰を受けて、福本さんは「防災士として誇りに思う。今後も支援を続けていきたい」と決意を固めました。

おなかの中から考える防災

民間企業との包括連携協定第2弾

町は11月17日、キッコーマンころろダイニング(株)(東京都)と包括連携協定を結びました。

この協定は、「益城町民間企業等協働推進事業」に基づき結ばれたもので、同社と町は、①災害時における避難者の腸内環境や栄養素を考慮した防災食メニュー考案、②小学生が自ら育てた作物を料理する食育体験、③町の農産物や玄米を活用した特産品開発に取り組みます。

協定に際し、茶谷良和社長は「町民の皆さんと一緒に防災食メニューを考えていきたい」と話しました。



協定書を掲げる茶谷社長と西村町長

Pickup Plus+
今月のプラス
Part1



津森小児童が11月26日、校舎近くの^{ごさぶろう}伍三郎農園で大豆の収穫を行いました。これは、キッコーマンころろダイニング(株)との包括連携協定による取り組みの1つで、児童たちは、自ら植えた大豆を収穫し、風力で穀物とごみを選別する農機具「唐箕^{とうみ}」を使い選別しました。児童たちは、「この大豆でみそを作るのが楽しみ」と目を輝かせていました。